

1か月で復習する  
**ドイツ語**  
**基本の文法**

田中 雅敏



音声  
ダウンロード

語研

1か月で復習する  
**ドイツ語**  
**基本の文法**

田中 雅敏



音声  
ダウンロード

語研

# はじめに

本書は、『1か月で復習するドイツ語基本の500単語』（西野路代著）の同シリーズとして企画されました。短い対話を想定した表現や、旅行で使える表現・語彙は、この単語帳で練習していただけます。本書は文法に特化しており、初級文法の学び直しができることが特徴となっています。

単なる学び直しにとどまらず、文法知識のさらなる定着を図りたい方、ドイツ語技能検定試験（「独検」）の文法対策をされたい方などにも役立てていただけます。独検レベルで言うと、3級～2級の対策に適しています。

本書における文法項目の並び順は、一般的な、いわゆる伝統的とされている並びとは少し異なっています。たとえば、「形容詞」は伝統的には「前置詞の格支配」なども一通り終わったあと、名詞を修飾するものとして扱われたり、文法書によっては扱われるのを省略されたりする項目ですが、本書では冠詞と一緒に学びます。名詞の性・数・格を示す文法としては、冠詞も形容詞も一緒に考える必要があるからです。

文法は文を作り出すときのルールですが、文を作り出す目的は情報を伝達したり、情報を求めたりすることです。欲しい情報が的確に得られるように、一定の決まりに従った文を発する必要がありますし、相手に伝えたい情報があるときにも一定のルールに基づいて発することでより効果的な伝達ができます。情報伝達は、「新しい情報は最後に」が原則です。最後に伝えられた情報ほど耳に残るからです。ドイツ語は、文末に動詞を格納する「枠構造」を持っています。ドイツ語が情報伝達ツールとしてとても合理的な仕組みを備えていることなど、言葉の面白さ・奥深さも感じただけだと幸いです。

本書がみなさんの助けとなりますように。

2022年秋

田中 雅敏

# 目次

はじめに	3
本書の構成	6
学習計画表	8
ドイツ語文の設計図	10

## 第1週

▶1日目	発音と名詞の性・複数形	11
▶2日目	名詞の役割と格	21
▶3日目	指示代名詞・人称代名詞	31
▶4日目	定冠詞・不定冠詞・否定冠詞	41
▶5日目	冠詞類・形容詞	51

## 第2週

▶6日目	不定詞句・zu不定詞句・否定	61
▶7日目	動詞の現在人称変化	71
▶8日目	文タイプと語順	81
▶9日目	並列の接続詞・従属接続詞・接続詞的副詞	91
▶10日目	複合動詞・分離動詞・非分離動詞	101

## 第3週

▶11日目	話法の助動詞(1) wollen, sollen, dürfen	111
▶12日目	話法の助動詞(2) können, müssen, mögen	121
▶13日目	現在完了形	131
▶14日目	過去形	141
▶15日目	前置詞(1) 空間スイッチの前置詞	151

## 第4週

▶16日目	前置詞(2) 2格支配, 3格支配, 4格支配の前置詞	161
▶17日目	受動文	171
▶18日目	再帰代名詞・再帰動詞	181
▶19日目	関係代名詞・関係副詞	191
▶20日目	命令法・接続法	201

▶週末まとめテスト1(1~5日目)	212
▶週末まとめテスト2(6~10日目)	214
▶週末まとめテスト3(11~15日目)	216
▶週末まとめテスト4(16~20日目)	218
▶仕上げテスト	220
▶解答	222

【ナレーション】Jan Hillesheim / Nadine Kaczmarek

【装丁】クリエイティブ・コンセプト

【イラスト】高嶋良枝

【ネイティブチェック】Lars Bauer

# 本書の構成

## ドイツ語文の設計図

- 文・・・主語と述語から成る。
- 文の主語・・・「誰が・何が」を表す部分。
- 文の述語・・・動詞を中心とし、「どうする・どうした」を表す。

述語・・・

- ① 動詞を中心に据える。
- ② 動詞の隣には、動詞にとって必要なもの(目的語など)が来る。



- ③ 必要なものが揃ったら、修飾語句を添えることもできる。



- ④ 主語を決めて、動詞は主語に応じた形(定動詞)になり、文タイプを表すための位置に置かれる。

- ✦ 疑問文・命令文・・・定動詞が**文頭**
  - **Liest** du in der Bibliothek ein Buch?
- ✦ 平叙文・・・定動詞が**2番目**
  - Du **liest** in der Bibliothek ein Buch.
- ✦ 副文・・・定動詞が**文末**
  - Schön, dass du in der Bibliothek ein Buch **liest**.

10

## ▶ 1日目 発音と名詞の性・複数形

### 習熟度チェック

- 1 下線部の発音が他と異なるものを選びましょう。
  - a. abends b. Geburtstag c. Hauptstadt d. jetzt
- 2 下線部の発音が他と異なるものを選びましょう。
  - a. Bach b. China c. Milch d. nicht
- 3 下線部の長さが他と異なるものを選びましょう。
  - a. Frankreich b. Italien c. Japan d. Korea
- 4 次の名詞のうち、性別が他と異なるものを選びましょう。
  - a. Lösung b. Sprung c. Übung d. Wohnung
- 5 次の名詞を複数形にしましょう。
  - a. Kind b. Hase c. Tasche d. Kuli

11

- 本書は、1か月(平日5日×4週間=20日間)でドイツ語の基礎文法の復習を終えられるように構成されています。
- 一日の始まりにまず習熟度チェックを行うことで、その日復習する項目についての現在の習熟度を測ります。
- 一日の終わりに確認の練習問題を解き、答え合わせを終えたら、学習の記録として日付を記載してください。
- 学習進行の目安として、各日の終わりに達成度を表記しました。



### 練習問題

1 ドイツ語で発音してみましょう。

- 0 null    3 drei    4 vier    5 fünf    8 acht  
 9 neun    10 zehn    11 elf    12 zwölf

2 下線部の発音が他と異なるものを選びましょう。

- a. best    b. eins    c. Stadt    d. Straße

3 下線部の発音が他と異なるものを選びましょう。

- a. Buch    b. Bauch    c. Milch    d. Nacht

4 次の名詞のうち、性別が他と異なるものを選びましょう。

- a. Baum 木    b. Japan 日本    c. Sohn 息子    d. Tag 日

5 次の名詞を複数形にしましょう。

- a. Brille 眼鏡    b. Buch 本    c. Tag 日    d. Taxi タクシー



達成率

5%

1 回目

年 月 日

2 回目

年 月 日

3 回目

年 月 日

### 《練習問題の答え》

- 1 0 ヌル    3 ドライ    4 フィア    5 フュンフ    8 アハト  
 9 ノイン    10 ツェーン    11 エルフ    12 ツヴゲルフ

2 c.  
語頭の s 十子音は [ʃ] 十子音。

3 c.  
a/u/au/o + ch の場合の ch は [x]。  
それ以外の環境下での ch は [ç]。

4 b.  
国名や地名は特殊なもの以外は中性名詞。  
「木」は大きなイメージで男性名詞。「息子」は生物学的に男性名詞。  
「日」は「月・曜日」と合わせて男性名詞。

5 a. Brillen    女性名詞の複数形は **-[e]n 型** が多い。  
b. Bücher    中性名詞は **-er 型** (必ずウムラウト) が多い。  
c. Tage    男性名詞は **-e 型** (ウムラウトの有無は個別に覚える) が多い。  
d. Taxis    e 以外の母音で終わる名詞の複数形は **-s 型**。

## ● 音声の無料ダウンロードについて

① 下記 URL にアクセスしていただき、本書紹介ページの【無料音声ダウンロード】をクリックすると、音声をダウンロードできます。

<https://www.goken-net.co.jp/catalog/card.html?isbn=978-4-87615-384-8>

または、下記 QR コードを読み取ると本書紹介ページにアクセスします。



② 各日最終ページの左上に記載された QR コードを読み取ると、その日の音声分をまとめて聴くことができます。

● このマークがついている項目内のドイツ語例文に音声収録されています。

※ 1 日目は一部の単語などにも音声あり。

● 音声は自然な発声を身につけるため、ふつうのスピードで収録してあります。

# 学習計画表

● 約 1 か月弱で終わるためのスケジュールモデル《月曜開始の場合》

	月	火	水	木	金	土	日
⇒ 日付	/	/	/	/	/	お休み oder 週末まとめテスト 1 p.212~213	
	p.11~20 1 日目	p.21~30 2 日目	p.31~40 3 日目	p.41~50 4 日目	p.51~60 5 日目		
⇒ チェック	済	済	済	済	済		
	月	火	水	木	金	土	日
	/	/	/	/	/	お休み oder 週末まとめテスト 2 p.214~215	
	p.61~70 6 日目	p.71~80 7 日目	p.81~90 8 日目	p.91~100 9 日目	p.101~110 10 日目		
	済	済	済	済	済		
	月	火	水	木	金	土	日
	/	/	/	/	/	お休み oder 週末まとめテスト 3 p.216~217	
	p.111~120 11 日目	p.121~130 12 日目	p.131~140 13 日目	p.141~150 14 日目	p.151~160 15 日目		
	済	済	済	済	済		
	月	火	水	木	金	土	日
	/	/	/	/	/	お休み oder 週末まとめテスト 4 p.218~219	
	p.161~170 16 日目	p.171~180 17 日目	p.181~190 18 日目	p.191~200 19 日目	p.201~210 20 日目		
	済	済	済	済	済		

\* 開始日を記入し、終わったら済マークをなぞってチェックしてください。



● 計画表フリースペース (自分なりのスケジュールを立てたい方用)

/	/	/	/	/	/	/
済	済	済	済	済	済	済
/	/	/	/	/	/	/
済	済	済	済	済	済	済
/	/	/	/	/	/	/
済	済	済	済	済	済	済
/	/	/	/	/	/	/
済	済	済	済	済	済	済

\* 上から曜日, 日付, 何日目, 済マークのチェック欄になります。自由にカスタマイズしてお使いください。

# ドイツ語文の設計図

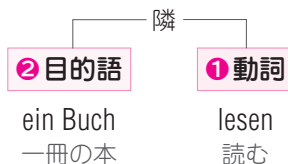
文・・・主語と述語から成る。

- 文の主語・・・「**誰が・何が**」を表す部分。
- 文の述語・・・動詞を中心とし、「**どうする・どうした**」を表す。

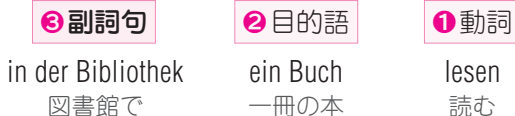
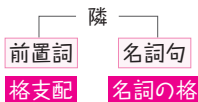
述語・・・

- ① **動詞**を中心に据える。
- ② 動詞の隣には、**動詞にとって必要なもの**（目的語など）が来る。

目的語だとわかるマーキング  
(**名詞の格**)



- ③ 必要なものが揃ったら、**修飾語句**を添えることもできる。



- ④ 主語を決めて、動詞は**主語に応じた形 定動詞**になり、文タイプを表すための位置に置かれる。

❖ **疑問文・命令文**・・・定動詞が**文頭**

- **Liest** du in der Bibliothek ein Buch?

❖ **平叙文**・・・定動詞が**2 番目**

- Du **liest** in der Bibliothek ein Buch.

❖ **副文**・・・定動詞が**文末**

- Schön, dass du in der Bibliothek ein Buch **liest** .



01

(1~3)

## 習熟度チェック

- 1 下線部の発音が他と異なるものを選びましょう。  
a. abends    b. Geburtstag    c. Hauptstadt    d. jetzt
  
- 2 下線部の発音が他と異なるものを選びましょう。  
a. Bach    b. China    c. Milch    d. nicht
  
- 3 下線部の長さが他と異なるものを選びましょう。  
a. Frankreich    b. Italien    c. Japan    d. Korea
  
- 4 次の名詞のうち、性別が他と異なるものを選びましょう。  
a. Lösung    b. Sprung    c. Übung    d. Wohnung
  
- 5 次の名詞を複数形にしましょう。  
a. Kind    b. Hase    c. Tasche    d. Kuli

## 《習熟度チェックの解答と解説》

### 1 c.

語末・音節末の d は [t] (Abend)。

語末の ds = ts = z = tz は [ts]。

語頭の s + 子音は [ʃ] + 子音 (Stadt)。

### 2 a.

a/u/au/o + ch の場合の ch は [x]。

それ以外の環境下での ch は [ç]。

### 3 b.

アクセント（強勢）があれば長母音。アクセントがあっても直後に子音 2 つで短母音。アクセントがなければ短母音。以下、□ がアクセント部分。

a. Frankreich    b. Italien    c. Japan    d. Korea

### 4 b.

動詞の語幹に -ung がついた派生語は女性名詞。

a. lösen – Lösung    c. üben – Übung    d. wohnen – Wohnung

動詞の語幹を取り出した名詞（語幹名詞）は男性名詞。

springen – Sprung    einkaufen – Einkauf    laufen – Lauf

### 5 a. Kind – Kinder

中性名詞の複数形は -er が多い。

b. Hase – Hasen    c. Tasche – Taschen

-e で終わる名詞の複数形は -en。

d. Kuli – Kulis

短縮語や母音 (e 以外) で終わる名詞の複数形は -s。



## ドイツ語の発音の三大“原則”

- 1 アルファベットの音価のとおりに発音する
- 2 第一音節の母音にアクセント
- 3 アクセントがあれば長母音、アクセントがなければ短母音



### 02 1 アルファベットの音価

<b>A</b> [a:]	<b>B</b> [be:]	<b>C</b> [tse:]	<b>D</b> [de:]	<b>E</b> [e:]	<b>F</b> [ef]	<b>G</b> [ge:]	<b>H</b> [ha:]
<b>I</b> [i:]	<b>J</b> [jot]	<b>K</b> [ka:]	<b>L</b> [el]	<b>M</b> [em]	<b>N</b> [en]	<b>O</b> [o:]	<b>P</b> [pe:]
<b>Q</b> [ku:]	<b>R</b> [er]	<b>S</b> [es]	<b>T</b> [te:]	<b>U</b> [u:]	<b>V</b> [faʊ]	<b>W</b> [ve:]	<b>X</b> [iks]
<b>Y</b> [ypsilon]	<b>Z</b> [tset]	<b>Ä</b> [e:]	<b>Ö</b> [ø:]	<b>Ü</b> [y:]	<b>ß</b> [ss]		

**Ä** [e:] (Ae とも書く) は、**A** [a:] の口をして **E** [e:] と発音します。

**Ö** [ø:] (Oe とも書く) は、**O** [o:] の口をして **E** [e:] と発音します。

**Ü** [y:] (Ue とも書く) は、**U** [u:] の口をして **I** [i:] と発音します。

### 2 第一音節固定アクセント

ドイツ語は、**語アクセントが第一音節に固定**

👉 その結果、名詞の語尾変化が衰退し、代わりに冠詞が発達しました。

👉 外来語はアクセントが第二音節以下にずれることが多いです。

### 3 強きは長く、弱きは短く。

アクセントを置きたい母音は長めに発すると、強く聞こえます。  
直後に子音が2つ以上あれば、長音はブロックされます。

アクセントなし → 短く      アクセントあり → 長く

アクセントがあっても直後に子音が2つ以上 → 短く



### ◎ 注意すべき発音

	例
□ <b>ei</b> で [ai]	<u>e</u> ins 数字の 1, <u>drei</u> 数字の 3
□ <b>eu/äu</b> で [ɔʏ]	<u>E</u> uro 通貨ユーロ, <u>Bä</u> ume 木々
□ <b>ie</b> で [i:] (アクセントがある場合)	<u>L</u> iebe 愛
□ [iə] (アクセントがない部分)	Fam <u>i</u> lie 家族
□ <b>s</b> +母音で [z]	<u>s</u> ieben 数字の 7, <u>S</u> ofa ソファ
□ <b>chs</b> で [ks]	<u>s</u> echs 数字の 6, <u>D</u> ach <u>s</u> アナグマ
□ 語頭の <b>s</b> +子音で [ʃ]+子音	<u>S</u> piel ゲーム, <u>S</u> tra <u>ß</u> e 通り
□ 語末・音節末の <b>b/d/g</b> は無声音 [p/t/k]	H <u>ab</u> s <u>bu</u> rg ハブスブルク, <u>T</u> ag 日
□ <b>a/u/au/o</b> + <b>ch</b> の場合の <b>ch</b> は [x]	<u>B</u> ach 小川, <u>B</u> uch 本
□ それ以外の環境下での <b>ch</b> は [ç]	<u>i</u> ch 私が, <u>C</u> hina 中国
□ <b>z/tz/ts</b> で [ts]	<u>z</u> wei 数字の 2, <u>jet</u> zt いま

👉 ドイツ語では、すべての名詞は語頭を大文字で書きます。



## 可算名詞・不可算名詞

一つの完全な姿として数えられるものは可算名詞です。複数形があります。

例：りんご(まるごと) 1 個・2 個 ein Apfel, zwei Äpfel, ...

魚 1 匹・2 匹 ein Fisch, zwei Fische, ...

個数を数えられないものは不可算名詞です。

例：時間〈抽象概念〉Zeit 砂や水〈物質名詞〉Sand, Wasser

数えられるように思えても、完全な 1 つとして認識できないものは不可算名詞です。

例：カットされたりんご〈物質名詞〉Apfel

魚〈物質名詞〉Fisch (泳いでいる 1 匹ではなく、刺身などとしてカット)

不可算名詞は数えられないものですが、単位(度量衡)をつけてのみ一定量を数えることが可能です。

例：2 時間(という)時間 zwei Stunden Zeit

皿 1 枚の魚料理 ein Teller Fisch

ボトル 1 杯の砂 eine Flasche Sand



## 04 ◎ 単数／単数形・複数／複数形

可算名詞において、単数は「ちょうど 1」を表します。不可算名詞においては(数えられないため)単数や複数の区別はありませんが、単数形で表すことになります。

「複数」という概念は、「複」という字が「2 つ以上」を表していますが、実際には 1.5 など(1 超 2 未満)や 0.5 など(0 超 1 未満)にも複数形が用いられます。

例：1 Kilometer entspricht 0,62137 Meilen.

単数

複数

1 キロメートルは、0.62137 マイルに相当する。



## 名詞の性

名詞には、文法上のグループ分けとして「性別」があります。

### 男性名詞

生物学上の雄（「父」「雄馬」など）を表す名詞群の他、**大きなもの**（「木」「山」など）のように意味から分類できるものもあります。**動詞の語幹を取り出した語幹名詞**や、音（**-f**や**-pf**で終わるなど）も関係します。

---

### 女性名詞

生物学上の雌（「母」「牝馬」など）を表す名詞群の他、**生命力の源**（「地球・地面」「手」「海」など）のような意味による区別もあります。また、音（**-t**で終わるなど）も関係します。

---

### 中性名詞

生物学上は、**未成熟なもの**（「赤ちゃん」「子」「ひよこ」など）を表したり、**外来語**（「ソファー」「タクシー」など）、**集合名詞**（「建物」「野菜」「果物」など）を表したりします。**縮小辞の -chen** がついても**中性名詞**です。

📌 国名は、一部の男性名詞（der Iran, der Irak）、女性名詞（die Mongolei, die Schweiz, die Slowakei, die Türkei, die Ukraine）、複数名詞（die Niederlande, die Philippinen, die VAE, die USA）を除き、中性名詞です。



## 複数形

名詞の性と複数形はある程度リンクしています。以下、大部分に当てはまるルールです。

### 男性名詞

**-e** をつけます。ウムラウトするものとしめないものがあります。

例：Sohn 息子 – **Söhne**    Baum 木 – **Bäume**    Tag 日 – **Tage**

---

### 女性名詞

**-[e]n** をつけます。ウムラウトはしません。

例：Uhr 時計 – **Uhren**    Fahrt 運行 – **Fahrten**    Brille 眼鏡 – **Brillen**

---

### 中性名詞

**-er** をつけ、必ずウムラウトします。

例：Kind 子 – **Kinder**    Buch 本 – **Bücher**    Land 国 – **Länder**

## ドイツ語の複数形の型

男性名詞 *Löffel* (スプーン) の複数形は、男性名詞の複数形 *-e* 型を当てはめると \**Löffele* になると思われそうですが、実際には *Löffel* (単複同形) となります (\*は誤った形を示すときにつける印)。

ポイントは、「複数形語尾にはアクセントがない」という事実です。*Löffel* のアクセントは第一音節 (*Löf-*) であり、語末の音節 (*-fel*) にはアクセントがありません。そこに、さらにアクセントのない複数形語尾 *-e* がつくと、アクセントを持たない母音 (弱母音) が連続してしまいます。このような「弱・弱」の連続は避けられる限りは避けなければなりません。そして、複数形語尾の *-e* はつけさえしなければ、この「弱・弱」連鎖は避けられます。

「ドイツ語の複数形の型は5つある」とするまとめ方もありますが、この語末脱落のアプローチを使うと、「ドイツ語の複数形の型は4つ」で済みます。

- ・ *-e* 型 (男性名詞に多い)
- ・ *-er* 型 (中性名詞に多い)
- ・ *-[e]n* 型 (女性名詞に多い)
- ・ *-s* 型 (外来語や *e* 以外の母音で終わる名詞に使う)

そして、語尾がなにもつかないパターンは、語末の「弱・弱」連鎖を避けなければならない語に当てはまる、というわけです。

ただし、男性名詞の場合、母音がウムラウトすることはありますので、*Apfel* (リンゴ) - *Äpfel* のように、語尾には何もつかないがウムラウトだけはするというものもあります。

## 練習問題

1 ドイツ語で発音してみましょう。

0 null      3 drei      4 vier      5 fünf      8 acht  
9 neun      10 zehn      11 elf      12 zwölf

2 下線部の発音が他と異なるものを選びましょう。

a. best      b. eins      c. Stadt      d. Straße

3 下線部の発音が他と異なるものを選びましょう。

a. Buch      b. Bauch      c. Milch      d. Nacht

4 次の名詞のうち、性別が他と異なるものを選びましょう。

a. **Baum** 木      b. **Japan** 日本      c. **Sohn** 息子      d. **Tag** 日

5 次の名詞を複数形にしましょう。

a. **Brille** 女      b. **Buch** 中      c. **Tag** 男      d. **Taxi** 中



## 《練習問題の答え》

- 1 0 **ヌル**      3 **ドライ**      4 **フィーア**      5 **フュンフ**      8 **アハト**  
 9 **ノイン**      10 **ツェーン**      11 **エルフ**      12 **ツヴェルフ**

## 2 c.

語頭の s + 子音は [ʃ] + 子音。

## 3 c.

a/u/au/o + ch の場合の ch は [x]。

それ以外の環境下での ch は [ç]。

## 4 b.

国名や地名は特殊なもの以外は中性名詞。

「木」は大きなイメージで男性名詞, 「息子」は生物学的に男性名詞,

「日」は「月・曜日」と合わせて男性名詞。

5 a. **Brillen**      女性名詞の複数形は **-[e]n 型**が多い。

b. **Bücher**      中性名詞は **-er 型** (必ずウムラウト) が多い。

c. **Tage**      男性名詞は **-e 型** (ウムラウトの有無は個別に覚える) が多い。

d. **Taxis**      e 以外の母音で終わる名詞の複数形は **-s 型**。



06

## 習熟度チェック

各文において、下線部の名詞が担っている格（1～4格）を答えましょう。

**1** Ich esse gern Hamburger.

私はハンバーガーを食べるのが好きだ。

**2** Hans lernt Japanisch.

ハンスは日本語を学んでいる。

**3** Bier schmeckt Max nicht.

ビールはマックスの口に合わない。

**4** Das ist Julia.

こちらはユーリアだ。

**5** Japan ist in Asien.

日本はアジアにある。

## 《習熟度チェックの解答と解説》

### 1 4 格

動詞 **essen** (食べる) という**行為を受ける対象物**。  
食べたらなくなるため、直接目的語。

### 2 1 格

動詞 **lernen** (学ぶ) という**行為の主体**。主語。

### 3 3 格

動詞 **schmecken** (～の味がする) という**感覚** (ここでは味覚) を感じる人。  
いわゆる**経験者**。間接目的語。

### 4 1 格

動詞 **sein** (～である) が表す**述語の内容語**。**補語であり、主語と同格** (つまり 1 格) になる。

### 5 3 格

前置詞 **in** (～の中に) が規定しようとする**場所**を具体的に表す。

名詞が、文において**他の語と関係して果たす役割を「格」**といいます。

習熟度チェックは、動詞との関係や前置詞との関係により名詞の役割が決まることを再確認することを狙っています。つまり、**どの名詞にどの格が表示されるかは、動詞や前置詞との関係で決まる**、ということです。

名詞が担う役割には、**① 動作主**、**② 経験者**、**③ 道具**、**④ 対象**、**⑤ 源泉**、**⑥ 目標**、**⑦ 場所**、**⑧ 時間**、**⑨ 述語内容**などがあります。

① 動作主	ある <b>動作を引き起こす者</b> の役割。他動詞の主語のほとんど。
② 経験者	ある <b>心理現象を体験する者</b> の役割。典型的には人。
③ 道具	ある <b>出来事の直接原因</b> 、ある心理事象と関係して <b>反応を起こさせる刺激</b> となる役割。
④ 対象	<b>移動する対象物や変化する対象物</b> 、あるいは判断、想像のような <b>心理事象の内容</b> を表す役割。被動作主としての他動詞の直接目的語が典型。
⑤ 源泉	対象物の移動における <b>起点</b> 、状態変化と形状変化における <b>最初の状態</b> を表す役割。起点となる場所の他、「奪われる」などのように <b>被害を受ける</b> 人も指す。
⑥ 目標	対象物の移動における <b>終点</b> 、状態変化や形状変化における <b>最終的な状態</b> を表す役割。「与える」型の動詞における受け手も指す。
⑦ 場所	ある <b>出来事が起こる場所</b> および <b>位置</b> を表す役割。
⑧ 時間	ある <b>出来事が起こる時間</b> を表す役割。
⑨ 述語内容	ある <b>対象物の状況や形状</b> を示す役割。典型的には動詞がsein。いわゆる <b>補語</b> が一般的。

習熟度チェック で見た文で見ると、

- ❶ **Ich** esse gern **Hamburger**. 私はハンバーガーを食べるのが好きだ。  
動作主 対象
- ❷ **Hans** lernt **Japanisch**. ハンスは日本語を学んでいる。  
動作主 対象
- ❸ **Bier** schmeckt **Max** nicht. ビールはマックスの口に合わない。  
対象 経験者
- ❹ Das ist **Julia**. こちらはユーリアだ。  
述語内容
- ❺ **Japan** ist in **Asien**. 日本はアジアにある。  
対象 場所

となります。「経験者格」や「場所格(ラテン語の所格)」のように、役割と格を1:1対応にできれば一番いいのですが、ドイツ語には(良くも悪くも)格が4つしかないため、汎用性が高くなるよう「1」~「4」という算用数字で格を表すことになっています。







## 1 格, 3 格, 4 格, 2 格の用法 (役割との対応)



### 07 ◎ 1 格…「動作主」, 「対象」の一部, 「述語内容」

**Hans** 〈動作主〉 mag Japanisch.      ハンスは日本語が好きだ。

**Ken** 〈対象〉 ist **Pilot** 〈述語内容〉.      ケンはパイロットだ。

📖 いわゆる「主語」というのは、文の「述語」に対する用語で、役割でいえば「動作主」や「対象」にまたがっています。役割に幅があっても、文法的に 1 格で示されたものは文の「主語」といいます。「動作主は文の主語となる」はほぼ成り立ちますが、「主語なら、その役割は動作主である」とは限りません。Das freut Max. (それはマックスを喜ばせる) の主語 das は、「マックスが喜ぶ原因になること」であり、役割でいえば「対象」です。



### 08 ◎ 3 格…「経験者」「源泉」「目標」「場所」「時間」「道具」

Ich danke **Julia** 〈経験者〉.      私はユーリアに感謝する。

Ich komme aus **Japan** 〈源泉〉.      私は日本出身だ。

Ich zeige **Max** 〈目標〉 Tokio.      私はマックスに東京を案内して見せる。

Max ist zu **Hause** 〈場所〉.      マックスは家にいる。

Julia kommt am **Sonntag** 〈時間〉.      ユーリアは日曜日に来る。

Ich schreibe mit dem **Computer** 〈道具〉.      パソコンで書く。

📖 3 格支配の前置詞に支配される名詞は、3 格支配を受けているから 3 格になる、というのは、記述としては正しいのですが、実際には「場所」や「源泉」「道具」が 3 格で表されるが故に、その名詞を目的語としてとる前置詞が (歴史的に) 3 格を支配するようになった、と考えることもできるのです。



09

## ◎ 4格…「対象」

Max trinkt **Kaffee** 〈対象〉.      マックスはコーヒーを飲む。

Er ärgert **Hans** 〈対象〉.      彼はハンスを怒らせる。

📖 「対象は4格で表示する」というのは常には成り立ちませんが、「4格で表示された名詞句の役割は対象である」というのはほぼ成り立ちます。**4格は、動作主によって意図的に働きかけをされる対象**であり、**物理的・時間的な拘束を受ける**ものです。



10

## ◎ 2格…「述語内容」(まれ)と「付加語」

Max ist guter **Laune** 〈述語内容〉.      マックスは機嫌がいい。

👉 形容詞 5 日目

Das ist **Hans'** 〈付加語：いわゆる所有格〉 Schule.

これはハンスの学校だ。

📖 2格は「**名詞と名詞の関係を示す**」機能が主です。

Berlin ist die Hauptstadt **Deutschlands** 〈付加語〉.

ベルリンはドイツの首都だ。



動詞にとって必須の名詞は「補足語」と呼ばれます。動詞にとって必須ではない修飾語は「添加語」です。

いわゆる「3格支配の動詞」といえば、補足語を必要とし、かつその補足語が3格で現れることになる動詞ということになります。**3格で表示されることになっている経験者を意味的に補足語としてとる動詞が、3格支配の動詞と名付けられている**、というように整理できます。

ドイツ語では、**4格目的語をとる動詞のみを「他動詞」と呼びます**。目的語をとる動詞であっても、**その目的語が3格であれば**、その動詞は「自動詞」です。また、目的語をとらない動詞も「自動詞」です。

## コラム2

### 日本語とドイツ語で格表示が違うことがあるのはなぜ？

日本語とドイツ語では、格の使い方が（大部分は同じですが）違いますので、きれいに対応はしません。日本語の格助詞は、そもそもドイツ語の格と一対一対応ではありません。

我が国は住みやすい。

Es lebt sich gut in meinem Land.

水が飲みたい。

Ich möchte Wasser trinken.

明日が天王山だ。

Morgen ist der entscheidende Tag.

これだけ見ても、日本語の格助詞「～が」は、ドイツ語で主語（1格）に対応することはもちろん、それ以外にも、属格（所有代名詞）や対格（4格）、副詞（句）などで表すことがわかります。

動詞そのものの格支配も、日本語とドイツ語では違います。たとえば、日本語の「…に～を尋ねる」という動詞は二重目的語（「…に」と「～を」）を必要としますが、ドイツ語の fragen は 4 格目的語と前置詞句を使います。

### Jemand fragt mich nach dem Weg.

誰かが 私に 道を聞いてきた。

日本語では、「～を」は「道」で使ってしまうので、残された「私」は「…に」の格表示しかできません。それに対し、ドイツ語では「私」が 4 格目的語、「道」は nach ~<sup>3</sup> を使います。

ドイツ語の直接目的語は、「文の主語である人・物が、その動作（動詞の意味）を通じて、直接的に影響を及ぼすときの対象」です。たとえば、Ich kaufe ein Buch.（私は本を一冊買う）という状況では、動作の主体である「私」は、本屋さんで「一冊の本」に目をとめ、それを手にとります。それを買おうと思い、レジに持っていき、代価を払います。いま、下線を引いた部分は、「私」が「一冊の本」に対して、直接的に影響を及ぼした部分です。本は、「私」によって本棚から引き離され、レジに運ばれ、代価と引き換えに持ち帰られるのです。

Jemand fragt mich nach dem Weg. の文に戻ると、誰かが道を聞いてきて直接的に影響を受けるのは「私」です。道を聞かれている間、時間の拘束を受けます。「私は祖母に電話する」Ich rufe meine Oma an. のような例でも、日本語では「～に」となっていますが、「私」が電話することで「祖母」は時間の拘束を受けますので、meine Oma は直接目的語（4 格）となります。

「私は弟の宿題を手伝う」という場合には、Ich helfe meinem Bruder bei den Hausaufgaben. となりますが、「私」は「手伝う」という行為によって「弟」に直接的な影響を与えているわけではありません。「宿題」は完成しますので、敢えて言えば「宿題」に影響は与えているかもしれませんが、「弟」のことを拘束していませんので、「弟」は間接目的語（3 格）になります。「宿題」こそ 4 格目的語にしたいところですが、ドイツ語の helfen は二重目的語をとる動詞ではないので、結果的には bei という前置詞を使うこととなります。



## 練習問題

各文において、下線部の名詞が担っている役割を考え、どの格で表示されるのがよいか答えましょう。

### 1 Max lernt Chinesisch.

マックスは中国語を学んでいる。

### 2 Ken ist Japaner.

ケン日本人だ。

### 3 Ich helfe Julia.

私はユーリアに手を貸す。

### 4 Ich schenke das Max.

私はこれをマックスにプレゼントする。

### 5 Sie ärgert Hans.

彼女はハンスを怒らせる。



## 《練習問題の答え》

### 1 1格

「学ぶ」という行為を意図的に行っている「動作主」。

**動作主は1格**で表示。

### 2 1格

ケンについての性質を述べる述語内容。いわゆる「補語」にあたる。**補語は1格**で表示。「AはBだ」という構文においては、AもBも1格。

### 3 3格

主語（私）が物理的・時間的に拘束する相手ではなく、相手に合わせてあげるだけの間接目的語。ユーリアは手伝ってもらって嬉しいという感情を持つ、その感情の「経験者」。**経験者は3格**で表示。「AがBに謝辞を述べる／祝辞を言う／手を貸す」タイプの動詞において、Bは3格。

### 4 3格

主語（私）が対象（これ）を与えるという行為、その行為の向く先、つまり「目標」（目標地点；終着点）を表す。**目標は3格**で表示する。「AがBにCを与える」タイプの動詞において、Bは3格、Cが4格。

### 5 4格

主語（彼女）の言動によって、ハンスは怒っていない状態から立腹状態へと変化することとなる。変化・変形を受ける「対象」。このような**変化や物理的・時間的・心理的拘束を受けるものは4格**で表示する。

## 習熟度チェック

下線部の名詞を、指示代名詞と人称代名詞で書き換えて空欄に入れましょう。

**1 Kennst du Hans?**

- Ja, \_\_\_\_\_ **kenne ich gut.** [指示代名詞]
- Ja, ich **kenne** \_\_\_\_\_ . [人称代名詞]
- Ja, \_\_\_\_\_ **ist mein Nachbar.** [指示代名詞]
- Ja, \_\_\_\_\_ **kommt gleich.** [人称代名詞]

**2 Kennst du Julia?**

- Ja, \_\_\_\_\_ **kenne ich gut.** [指示代名詞]
- Ja, ich **kenne** \_\_\_\_\_ . [人称代名詞]
- Ja, \_\_\_\_\_ **helfe ich oft.** [指示代名詞]
- Ja, ich **helfe** \_\_\_\_\_ **oft.** [人称代名詞]

**3 Kennst du Herrn und Frau Steyr?**

- Ja, \_\_\_\_\_ **sind meine Nachbarn.** [指示代名詞]
- Ja, \_\_\_\_\_ **sind sehr nett.** [人称代名詞]
- Ja, \_\_\_\_\_ **gefällt Japan sehr.** [指示代名詞]
- Ja, Japan **gefällt** \_\_\_\_\_ **sehr.** [人称代名詞]

**1 Kennst du Hans?**→ Ja, den kenne ich gut.→ Ja, ich kenne ihn.→ Ja, der ist mein Nachbar.→ Ja, er kommt gleich.

ハンスって知ってる？

うん、ハンスなら、よく知っているよ。

うん、(ハンスを)よく知っているよ。

うん、ハンスならご近所さんだよ。

うん、(ハンスは)すぐに来るよ。

**2 Kennst du Julia?**→ Ja, die kenne ich gut.→ Ja, ich kenne sie.→ Ja, der helfe ich oft.

うん、ユーリアならよく手を貸してあげているよ(だからよく知っている)。

→ Ja, ich helfe ihr oft.

ユーリアって知ってる？

うん、ユーリアなら、よく知っているよ。

うん、(ユーリアを)よく知っているよ。

うん、(ユーリアに)よく手を貸してる。

**3 Kennst du Herrn und Frau Steyr?**→ Ja, die sind meine Nachbarn.→ Ja, sie sind sehr nett.→ Ja, denen gefällt Japan sehr.→ Ja, Japan gefällt ihnen sehr.

シュタイヤーさんご夫妻って知ってる？

そのご夫妻ならご近所さんだよ。

うん、(そのご夫妻は)とても親切だよ。

うん、そのご夫妻なら、日本がとてもお気に入りだよ。

うん、(そのご夫妻は)日本がとてもお気に入りだよ。





13

2日目では文の主語となる名詞には1格が表示され、また、他動詞の目的語は4格で表示されることを見ました。

1格

**Max** ist Pilot.

マックスはパイロットだ。

男性/単数

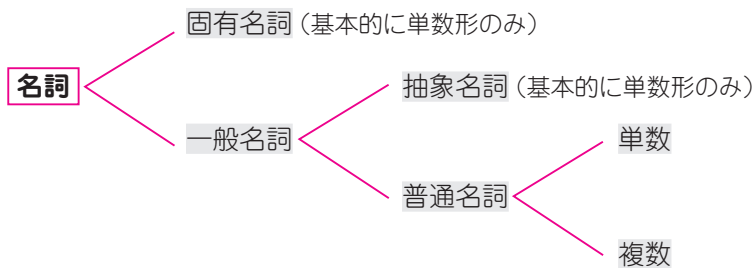
4格

Ich mag **Deutsch**.

私はドイツ語が好きだ。

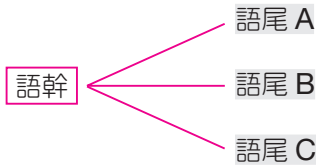
中性/単数

これまでは、Max や Deutsch など、主にいわゆる固有名詞を使って例文を示してきましたが、名詞には一般名詞もあります。一般名詞には、普通名詞、抽象名詞などの区別もあり、さらに普通名詞は可算名詞ですので複数形があります。



名詞には文法上の性もあり、普通名詞なら単数・複数の区別もあり (👉 1日目)、しかも1～4格 (👉 2日目) の区別もあるわけです。固有名詞にも性別があり、数もあり、格もあります。

それを明示的に表すしくみとして、「シグナル語尾」があります。「語尾」は、語幹（語の中で一定で変わらない部分）に添えられる変化する部分のことです。



「シグナル」は、「黄色なら注意して止まれ」のように、持たせたい意味機能（アウトプット）に対応したルール化された表示（信号）のことと言えます。

語尾 A … 男性／単数／1 格

語尾 B … 中性／単数／3 格

語尾 C … 女性／複数／4 格 など



## 14 指示代名詞

指示性が強いため、文頭に立つことが普通です。「その〇〇なら、…だ」というように文の主題になったり、強い指示性で「まさしくその〇〇だよ。前に話した…は」のように使われたりするものです。

### ◎ 指示代名詞の格変化

	男性／単数	中性／単数	女性／単数	複数
1 格	<b>der</b>	<b>das</b>	<b>die</b>	<b>die</b>
2 格	<b>dessen</b>	<b>dessen</b>	<b>deren</b>	<b>deren</b>
3 格	<b>dem</b>	<b>dem</b>	<b>der</b>	<b>denen</b>
4 格	<b>den</b>	<b>das</b>	<b>die</b>	<b>die</b>

Wo ist Hans? — **Der** ist in München. 〈男性単数 1 格〉

ハンスはどこ?—彼ならミュンヘンに行っているよ。

Hans und **dessen** Frau sind sehr nett. 〈男性単数 2 格〉

ハンスとその奥さんはとても親切です。

Kennst du Maria? **Der** gefälltst du! 〈女性単数 3 格〉

マリアって知ってる? 彼女に君は気に入られているよ!

Ich lerne Japanisch. — **Das** mag ich auch! 〈中性単数 4 格〉

私は日本語を学んでいます。—それ(日本語), 僕も好きなんだ!

固有名詞でも一般名詞でも代名詞で受けることができます。**指示代名詞を由来とする, 名詞の性・数・格を明示する語尾がシグナル語尾**です。一覧にすると次のようになります。

### ◎ シグナル語尾

	男性／単数	中性／単数	女性／単数	複数
1 格	<b>-er</b>	<b>-es</b>	<b>-e</b>	<b>-e</b>
2 格	<b>-es</b>	<b>-es</b>	<b>-er</b>	<b>-er</b>
3 格	<b>-em</b>	<b>-em</b>	<b>-er</b>	<b>-en</b>
4 格	<b>-en</b>	<b>-es</b>	<b>-e</b>	<b>-e</b>

男性単数を除いて, 中性単数・女性単数・複数形で, 1 格と 4 格が同じ形であることを覚えてしまうといいでしょう。

**このシグナルが, ドイツ語の名詞, 冠詞, 形容詞, 代名詞などに(一貫して)用いられることとなります。**たとえば, 男性 1 格のシグナルは **-er** ですので,

男性 1 格 **der** Mann その男性が / süß**er** Wein 甘いワインが / **er** 彼が  
となります。

ただし、**シグナルはその名詞句全体で1つまで**です。そのため、

**der große Mann** その背の高い男性が

のように、赤字の**シグナルが1つあれば**（この場合は定冠詞にある）、**形容詞にはシグナルが不要になり弱い語尾**（形容詞につけられた下線部）**だけつくこと**になります。👉 [定冠詞 4 日目](#)、[形容詞 5 日目](#)

**注意**

**中性名詞 1 格・4 格のシグナルは -es ですが、定冠詞は das で、ここは -es → -as となります。**

**不定冠詞の男性 1 格／中性 1・4 格は ein△ と無シグナル**になってしまいます。

👉 [不定冠詞 4 日目](#)

## **人称代名詞**

### ◎ **人称代名詞の格変化**（3人称）

	男性／単数	中性／単数	女性／単数	複数
1 格	<b>er</b>	<b>es</b>	<b>sie</b>	<b>sie</b>
2 格	seiner	seiner	ihrer	ihrer
3 格	<b>ihm</b>	<b>ihm</b>	<b>ihr</b>	<b>ihnen</b>
4 格	<b>ihn</b>	<b>es</b>	<b>sie</b>	<b>sie</b>

👉 人称代名詞の 2 格は、正確には再帰代名詞（👉 [18 日目](#)）の 2 格が転用されたものです。

3 人称複数の人称代名詞は、大文字書きすると「敬称」（丁寧な 2 人称）になります。これは、丁寧に話す間柄の人との「**心理的距離**」を 3 人称が持つ「**物理的距離**」に読み替え、また、**一人の人を名指しする不躰を避けるため複数**

形を用いることに由来します。

なお、**文法上の性の区別があるのは3人称だけで、「その場にはいない人や物」を指すからこそ、性別を区別する必要がある**ことに注意してください。

例： あいつ、いつ来るの？

↑ 誰を指しているかわからない

**1人称・2人称はその場にいる参与者**（話し手／書き手・聞き手／読み手）ですので、誰を指しているか自動的にわかります。

例： 君、明日来る？ — 僕？ 行くよ。

1人称・2人称を指す代名詞は、3人称のように「名詞の代理」をしているというよりは、話し手や聞き手本人をダイレクトに指すため、「**直示表現**」と呼ばれます。

直示表現にも格変化はあります。

### ◎ 人称代名詞の格変化（1人称・2人称）

	1人称／単数	1人称／複数	2人称／単数	2人称／複数
1格	<b>ich</b>	<b>wir</b>	<b>du</b>	<b>ihr</b>
2格	meiner	unser	deiner	euer
3格	<b>mir</b>	<b>uns</b>	<b>dir</b>	<b>euch</b>
4格	<b>mich</b>	<b>uns</b>	<b>dich</b>	<b>euch</b>



Max	指示代名詞	<b>Der</b> ist Jurist.	そのマックスが法律家だ。
	人称代名詞	<b>Er</b> ist Jurist.	彼は法律家だ。
	所有代名詞	<b>Sein</b> Vater ist Arzt.	彼の父親は医者だ。
	再帰代名詞	Er liebt <b>sich</b> .	彼は自分が好きだ。
	疑問代名詞	<b>Wer</b> kommt?	誰が来るの？
	関係代名詞	Es ist Max, <b>der</b> mir hilft.	私を助けてくれているのはマックスだ。

## コラム3

## 川の名前にも性別がある

国の名前と同様 (👁️16 ページ), 川の名前にも文法上の性の分類があります。ドイツで有名なライン川は男性名詞 (der Rhein), エルベ川は女性名詞 (die Elbe) です。ドイツ南東部, チェコとオーストリアとの国境に近い, パッサウ (Passau) という市には, 市内に3つの川が流れています。ドーナウ川 (die Donau), イン川 (der Inn) そしてイルツ川 (die Ilz) です。川の水質, 水の比重が違うため, 3つの川が混ざり合わずに層になって見える部分があります。



3つの川が合流する町 Passau

## 練習問題

下線部の名詞を、指示代名詞と人称代名詞で書き換えて空欄に入れましょう。

### 1 Kennst du Maria?

→ Ja, \_\_\_\_\_ **kenne ich gut.** [指示代名詞]

→ Ja, ich helfe \_\_\_\_\_ **oft.** [人称代名詞]

### 2 Kennst du Robert?

→ Ja, ich kenne \_\_\_\_\_ . [人称代名詞]

→ Ja, \_\_\_\_\_ **ist mein Nachbar.** [指示代名詞]

### 3 Kennst du Frau und Herrn Klein?

→ Ja, \_\_\_\_\_ **sind sehr nett.** [人称代名詞]

→ Ja, \_\_\_\_\_ **gefällt Japan sehr.** [指示代名詞]



3

達成率

15 %

1 回目

年 月 日

2 回目

年 月 日

3 回目

年 月 日



16

## 《練習問題の答え》

1 Kennst du Maria?

マリアって知ってる？

女性名詞 (女性の名前)

→ Ja, die kenne ich gut.

うん, マリアならよく知ってるよ。

女性名詞単数 4 格 (動詞 kennen の直接目的語)

→ Ja, ich helfe ihr oft.

うん, (マリアに) よく手を貸してるよ。

女性名詞単数 3 格 (動詞 helfen の間接目的語)

2 Kennst du Robert?

ローベアトって知ってる？

男性名詞 (男性の名前)

→ Ja, ich kenne ihn.

うん, (ローベアトを) 知ってるよ。

男性名詞単数 4 格

→ Ja, der ist mein Nachbar.

うん, ローベアトならご近所さんだよ。

男性名詞単数 1 格 (主語)

3 Kennst du Frau und Herrn Klein?

クラインさんご夫妻って知ってる？

3 人称複数形

→ Ja, sie sind sehr nett.

うん, (そのご夫妻は) とても親切だよ。

複数形 1 格 (主語)

→ Ja, denen gefällt Japan sehr.

複数形 3 格 (動詞 gefallen の間接目的語)

うん, そのご夫妻なら, 日本がとてもお気に入りだよ。



## 習熟度チェック

空欄に指示に従って、定冠詞／不定冠詞／否定冠詞のいずれかを適切な形で入れましょう。

- 1 Ich habe \_\_\_\_\_ Schwester. [不定冠詞；女性 4 格]  
私には姉（妹）が 1 人いる。
- 2 Wir haben \_\_\_\_\_ Kind. [不定冠詞；中性 4 格]  
私たちには子どもが 1 人いる。
- 3 \_\_\_\_\_ Getränk mag ich nicht. [定冠詞；中性 4 格]  
このドリンクは好きじゃない。
- 4 Das Ding hat \_\_\_\_\_ Namen. [否定冠詞；男性 4 格]  
この道具には名前がない。
- 5 \_\_\_\_\_ Leuten gefällt es in Tokio nicht. [定冠詞；複数 3 格]  
この人々には東京は気に入らない。
- 6 \_\_\_\_\_ Jahr hat 365 Tage. [不定冠詞；中性 1 格]  
一年は 365 日ある。
- 7 \_\_\_\_\_ Stunde hat 60 Minuten. [不定冠詞；女性 1 格]  
一時間は 60 分だ。
- 8 Er schenkt \_\_\_\_\_ Frau Geschenke. [否定冠詞；女性 3 格]  
彼はどの女性にもプレゼントを贈らない。
- 9 Der Vater \_\_\_\_\_ Kindes ist Politiker. [定冠詞；中性 2 格]  
その子どもの父親は政治家だ。
- 10 Hier sind \_\_\_\_\_ Kinder. [否定冠詞；複数 1 格]  
ここには子どもはいない。



17 《習熟度チェックの解答と解説》

1 Ich habe **eine** Schwester.

不定冠詞の語幹 **ein-** + 女性 4 格のシグナル **-e**。

2 Wir haben **ein** Kind.

中性名詞 1 格・4 格の不定冠詞 **ein** は無語尾。

3 **Das** Getränk mag ich nicht.

定冠詞の語幹 **d-** + 中性 4 格のシグナル **-es** (変化して **-as**)。

4 Das Ding hat **keinen** Namen.

否定冠詞の語幹 **kein-** + 男性 4 格のシグナル **-en**。

5 **Den** Leuten gefällt es in Tokio nicht.

定冠詞の語幹 **d-** + 複数 3 格のシグナル **-en**。

6 **Ein** Jahr hat 365 Tage.

中性名詞 1 格・4 格の不定冠詞 **ein** は無語尾。

7 **Eine** Stunde hat 60 Minuten.

不定冠詞の語幹 **ein-** + 女性 1 格のシグナル **-e**。

8 Er schenkt **keiner** Frau Geschenke.

否定冠詞の語幹 **kein-** + 女性 3 格のシグナル **-er**。

9 Der Vater **des** Kindes ist Politiker.

定冠詞の語幹 **d-** + 中性 2 格のシグナル **-es**。

10 Hier sind **keine** Kinder.

否定冠詞の語幹 **kein-** + 複数 1 格のシグナル **-e**。

## ドイツ語の冠詞

定冠詞は指示代名詞 (👉 3 日目) から成立しています。  
指示代名詞の変化表をおさらいしてみましょう。

	男性／単数	中性／単数	女性／単数	複数
1 格	<b>der</b>	<b>das</b>	<b>die</b>	<b>die</b>
2 格	<b>dessen</b>	<b>dessen</b>	<b>deren</b>	<b>deren</b>
3 格	<b>dem</b>	<b>dem</b>	<b>der</b>	<b>denen</b>
4 格	<b>den</b>	<b>das</b>	<b>die</b>	<b>die</b>

**指示代名詞**は「代名詞」であり、たとえば Hans (ハンス；固有名詞) や das Buch (この本；普通名詞) **そのもの (全体) の代わりにして指すもの**です。

それに対して、**冠詞**というのは、名詞とは別に、**名詞の前に置かれる「冠(帽子)」**です。代名詞ほどの指示性がないため、語尾が少し簡略化されていますが、**定冠詞と指示代名詞はほぼ同じ形**です。

### ◎ 定冠詞の格変化

	男性／単数	中性／単数	女性／単数	複数
1 格	<b>der</b>	<b>das</b>	<b>die</b>	<b>die</b>
2 格	<b>des</b>	<b>des</b>	<b>der</b>	<b>der</b>
3 格	<b>dem</b>	<b>dem</b>	<b>der</b>	<b>den</b>
4 格	<b>den</b>	<b>das</b>	<b>die</b>	<b>die</b>

**不定冠詞**は、数詞 **eins** から成立しており、この **eins** は付加語的な場合には（たとえば、「21」(einundzwanzig) に見られる **ein-** のように) 語末の **-s** は脱落します。そのため、**ein** という、語尾のない形が基本となります。**男性 1 格と、中性 1・4 格が基本形(無語尾)で、それ以外はシグナル語尾がつきます。**

### ◎ 不定冠詞の格変化

	男性／単数	中性／単数	女性／単数	複数
1 格	<b>ein</b>	<b>ein</b>	<b>eine</b>	-
2 格	<b>eines</b>	<b>eines</b>	<b>einer</b>	-
3 格	<b>inem</b>	<b>inem</b>	<b>einer</b>	-
4 格	<b>inen</b>	<b>ein</b>	<b>eine</b>	-

📖 数詞「1」から成立した不定冠詞には、複数形の形はありません。

否定冠詞は、不定冠詞に否定を表す **k-** (古語では **nih-**, **neh-**, **nek-** などのバリエーションがあった) がついた形をしています。

### ◎ 否定冠詞の格変化

	男性／単数	中性／単数	女性／単数	複数
1 格	<b>kein</b>	<b>kein</b>	<b>keine</b>	<b>keine</b>
2 格	<b>keines</b>	<b>keines</b>	<b>keiner</b>	<b>keiner</b>
3 格	<b>keinem</b>	<b>keinem</b>	<b>keiner</b>	<b>keinen</b>
4 格	<b>keinen</b>	<b>kein</b>	<b>keine</b>	<b>keine</b>

📖 否定冠詞は「ゼロ」を表すため、複数形とミスマッチにならず、複数形を表す形があります。

## 冠詞の使い分け (主な用法)



18

### 定冠詞

#### ◎ 指示力なき指示詞としての用法

##### ① 話の流れから規定されるもの：

名詞がどの対象を指し示しているかが先行する言及などから明らかな場合

Da steht ein Mann. **Der** Mann ist mein Bruder.

あそこに男性が1人いるでしょ。あの男性、私の兄(弟)です。

##### ② 状況的に1つに限定できるもの：

世界に1つしかないというわけではないが、発話が行われる状況や場面で規定されるもの

Wo ist hier **der** Bahnhof? 駅はどこですか。

↑ その場所で普通に想定される最寄り駅

#### ◎ 通念を表す用法

##### ① 唯一名詞：世界に1つしかないため自動的に限定できるもの

**Die** Erde kreist um die Sonne. 地球は太陽の周りをまわっている。

##### ② 総称的：「～というものは」という意味合いになるもの

**Der** Käse ist ein Milchprodukt. チーズ(というものは)は乳製品のひとつだ。

##### ③ 固有名詞 (国名, 河川名, 人名等)

国名や都市名はふつう中性名詞単数で、無冠詞で用いられますが、男性名詞や女性名詞、あるいは複数形扱いの場合には定冠詞がつけられます。

**die** Schweiz スイス〈女性名詞〉

**die** Türkei トルコ〈女性名詞〉

**der** Irak イラク〈男性名詞〉

**die** USA アメリカ合衆国〈複数形〉

#### 4 概念・抽象名詞・物質名詞

**die** Zeit 時間〈女性名詞〉

**der** Traum 夢〈男性名詞〉

**das** Holz 木材〈中性名詞〉

#### ◎ 形式的用法

定冠詞自体に特に限定的機能はなく、格の区別などのために用います。

Zinn ist **dem** Zink ähnlich. 錫は亜鉛に似ている。



19

#### 🚩 不定冠詞

#### ◎ 「1つ」を表す用法

可算名詞の単数形にのみ用いられ、数が「ちょうど1」であることを表します。なお、「ちょうど1」でないものには複数形が用いられます。

Ich habe **ein** Kind. 私には子どもが1人いる。

Der Dom hat **eine** Höhe von 130 Metern.

この大聖堂は130メートルの高さがある。

#### ◎ 不定性を表す用法

名詞が表す対象を受け手が同定できないとき。典型的には、話に初めて登場する対象物などです。単数のみならず複数形でも現れることができますが、複数形の場合、不定冠詞が隠れてしまうことに注意しましょう。

Das ist **ein** Kuli. これはボールペンです。

Das sind Himbeeren. これらはラズベリーです。

#### ◎ 質を強調する用法

「ある種の…」のように、性質を表します。この用法では、抽象名詞にも不定冠詞をつけることがあります。

Du bist **ein** Arzt. 君は医者みたいだね。

(医者ではない相手に、治療に詳しいことなどを褒めて。  
あるいは、良くない医者に対して皮肉を込めて)

Das ist **eine** Kälte. とてつもない寒さだ。



## 否定冠詞

### ○ 不定冠詞のついた名詞の否定

不定冠詞の否定はつねに **kein-**

Ich habe **ein** Kind. ⇔ Ich habe **kein** Kind. 子どもはいません。

### ○ 無冠詞の名詞の否定

不可算名詞もしくは不定冠詞の複数形としての無冠詞

Ich habe Kinder. ⇔ Ich habe **keine** Kinder. 子どもはいません。

Ich verstehe **kein** Japanisch. 日本語はわかりません。

Ich habe **keine** Zeit. 時間がありません。



## 参考 nichtをいつ用いるか



### ① 熟語表現

Ich fahre **nicht** Auto. 私は運転できない。

Auto fahren で「運転する」という熟語です。

Ich arbeite **nicht** als Lehrer. 私は教員としては働いていない。

### ② 肯定の答えを期待する場合には、通常は **kein** が現れるはずのところでも **nicht** を使うことがあります。

Hast du **nicht** Interesse? 興味がないと言うのか。

参考 Hast du **kein** Interesse? 興味ないの？

### どのような基準で冠詞をつける・つけないのか

不可算名詞で、数量が問題になる場合には冠詞がつきません。不可算名詞とは、Wasser（水）、Schokolade（チョコレート）などの物質名詞、Zeit（時間）、Hunger（空腹）などの抽象名詞のように、数えることのできない名詞です。数えることができませんので、複数形にできないのはもちろん、「これ」というように特定の範囲を指さすこともできません。

たとえば、Zeit を例にとると、概念としての「時間」を指し、定冠詞 die をつけて Die Zeit vergeht sehr schnell. 「時が経つのはとてもはやい」と言うことはできます。これは総称として「時間全体」を指しているからです（「時というものは〜」）。しかし、時間があるかないか、という数量や存在が問題になる場合には、Morgen habe ich Zeit. 「明日は暇があります」/Es ist Zeit. 「もう時間だ」などというように、無冠詞（冠詞がつかない）で用いられます。

無冠詞で用いられる名詞は抽象名詞のような扱いを受けるということですので、たとえば実際には可算名詞である Auto など、「（特定の車ではなく、熟語的な意味で）車を運転する」という表現において、Ich fahre gern Auto. のように、無冠詞で用いられます。

ただし、無冠詞の名詞であっても、否定するときには冠詞（否定冠詞）がつかますので、注意が必要です（Ich habe keinen Hunger./Ich habe keine Zeit.）。



## 練習問題

空欄に入る冠詞を適切な形で入れましょう。冠詞が入らないときは「×」印を書きましょう。

**1** Ich habe \_\_\_\_\_ Bruder.

私には兄(弟)が1人います。

**2** Wo ist \_\_\_\_\_ Bahnhof?

駅(男)はどこですか。

**3** Das Gerät hat \_\_\_\_\_ Namen.

この道具には名前(男)がない。

**4** \_\_\_\_\_ Woche hat sieben Tage.

一週間(女)は7日ある。

**5** Hier spielen \_\_\_\_\_ Kinder.

ここでは子どもたち(複)は遊んでいない。

**6** Maschinen helfen \_\_\_\_\_ Menschen.

機械(複)は人間(複)を手伝うものだ。



## 《練習問題の答え》

1 Ich habe **einen** Bruder.

「1」を表すため、不定冠詞を用いる。

男性名詞 Bruder の 4 格シグナル **-en**。

2 Wo ist **der** Bahnhof?

「最寄り駅」が想定されるため、定冠詞。

男性名詞 Bahnhof の 1 格シグナル **-er**。

3 Das Gerät hat **keinen** Namen.

「ゼロ」を表すため、否定冠詞。

男性名詞 Name の 4 格 (Namen は男性弱変化) シグナル **-en**。

4 **Eine** Woche hat sieben Tage.

「1」を表すため、不定冠詞を用いる。

女性名詞 Woche の 1 格シグナル **-e**。

5 Hier spielen **keine** Kinder.

「ゼロ」を表すため、否定冠詞。

複数形 Kinder の 1 格シグナル **-e**。

6 Maschinen helfen **x** Menschen.

一般論として言われているため、Mensch (人間) を不定の複数形で用いる。

ただし、不定冠詞に複数形はないため、無冠詞となる。

**I** 下線部の発音が他とは異なるものを1つ選びましょう。

- |   |                   |                   |                    |                      |
|---|-------------------|-------------------|--------------------|----------------------|
| 1 | ア <u>e</u> ins    | イ gro <u>ß</u>    | ウ <u>S</u> zene    | エ <u>s</u> ieben     |
| 2 | ア Bu <u>ch</u>    | イ B <u>ü</u> cher | ウ Li <u>ch</u> t   | エ Li <u>ch</u> ter   |
| 3 | ア B <u>ä</u> ume  | イ ne <u>u</u> n   | ウ Tra <u>u</u> m   | エ Tr <u>ä</u> ume    |
| 4 | ア Br <u>u</u> der | イ Lo <u>b</u>     | ウ Ob <u>st</u>     | エ St <u>ä</u> bchen  |
| 5 | ア Ha <u>h</u> n   | イ Ja <u>p</u> an  | ウ Ja <u>p</u> aner | エ Ja <u>p</u> anisch |

**II** 複数形にしましょう。

- |   |                        |   |                      |
|---|------------------------|---|----------------------|
| 1 | das Sofa → die _____   | 2 | der Sohn → die _____ |
| 3 | der Löffel → die _____ | 4 | die Tür → die _____  |
| 5 | die Gabel → die _____  | 6 | das Land → die _____ |

**III** 格変化の表を完成させましょう。

1 格			
2 格			der Autos
3 格		der weißen Blume	
4 格	kein großes Haus		

1 格	kalter Wein		
2 格			
3 格		keinen Frauen	
4 格			einen alten Mann

**I** 次の語句を適切な順に並び替えて、日本語に対応する不定詞句を作りましょう。

1 [ gehen ins Bett langsam ] そろそろ就寝する

---

2 [ aufstehen morgen um sechs Uhr ]

明日6時に起きる

---

**II** Iの語句を用いて、日本語をドイツ語に直しましょう。

私は明日6時に起きるために、そろそろ就寝します。

---

**III** 丸数字の語を入れるのに適した位置を選択肢から選びましょう。

1 Er kommt heute nicht,  er  arbeiten .

彼は今日来ません。というのも仕事をしなければならないからです。

① denn – ア イ ウ      ② muss – ア イ ウ

2 Weil es später ,  ich  meinen Regenschirm .

このあと雨が降るので、傘を持って行きます。

① mit – ア イ ウ エ      ② nehme – ア イ ウ エ

③ regnet – ア イ ウ エ

# 仕上げテスト

**I** 空欄に入る語の組み合わせとして適切なものを選びましょう。

1 Claudia, ( ア ) alles, ( イ ) du magst!

- |     |       |   |      |
|-----|-------|---|------|
| ① ア | nehme | イ | das  |
| ② ア | esse  | イ | wenn |
| ③ ア | nimm  | イ | was  |
| ④ ア | iss   | イ | weil |

2 Ich ( ア ) gern den Kuchen, ( イ ) ich hier unten sehe.

- |     |        |   |      |
|-----|--------|---|------|
| ① ア | esse   | イ | dass |
| ② ア | würde  | イ | was  |
| ③ ア | möchte | イ | denn |
| ④ ア | hätte  | イ | den  |

3 Ich ( ア ) ( イ ) Deutschland reisen.

- |     |        |   |      |
|-----|--------|---|------|
| ① ア | möchte | イ | nach |
| ② ア | will   | イ | gern |
| ③ ア | kann   | イ | zu   |
| ④ ア | soll   | イ | mit  |

4 ( ア ) uns ist der ( イ ) Himmel.

- |     |          |   |         |
|-----|----------|---|---------|
| ① ア | Unter    | イ | großen  |
| ② ア | Zwischen | イ | neuer   |
| ③ ア | Bei      | イ | schönes |
| ④ ア | Über     | イ | blaue   |

## 田中 雅敏 (たなか まさとし)

東洋大学法学部教授(博士(学術))。専門はドイツ言語学・ドイツ語教授法。ポツダム大学、ザルツブルク大学などで在外研究。

著書に『ドイツ語積み増し 360 語』(語研), 『わたしのドイツ語 32 のフレーズでこんなに伝わる』、『中級学習者のためのドイツ語質問箱 100 の疑問』(白水社), 『ゼロからスタートドイツ語文法編』(Jリサーチ出版) など。

2016 年 10 月～12 月(第 1 期), および 2018 年 10 月～2019 年 3 月(第 2 期)に, NHK ラジオ講座「まいにちドイツ語応用編(ドイツ語発見の旅 1・2)」を担当。

© Masatoshi Tanaka, 2022, Printed in Japan

# 1 か月で復習する ドイツ語基本の文法

2022 年 12 月 5 日 初版第 1 刷発行

著者 田中 雅敏  
制作 ツディブックス株式会社  
発行者 田中 稔  
発行所 株式会社 語研  
〒101-0064  
東京都千代田区神田猿樂町 2-7-17  
電話 03-3291-3986  
ファクス 03-3291-6749  
組版 ツディブックス株式会社  
印刷・製本 倉敷印刷株式会社

**ISBN978-4-87615-384-8 C0084**

書名 イッカゲツデフクシュウスルドイツゴキホンノブンポウ  
著者 タナカ マサトシ  
著作者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。  
乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社語研



語研ホームページ <https://www.goken-net.co.jp/>

本書の感想は  
スマホから ↓





1か月に復習するドイツ語基本の文法

ためし読みはここからです。

[Webページへ](#)

